



「花のほひ」 明治十二年 (1879) 岸上正石自筆序  
画者署名なし 一頁一種、全五十二図、菊品種画帖  
素人画なれど、銀箔切、砂子散らしの上料紙を使用する。  
(黄色) 金孔雀 (赤色) 矢くるま (江戸菊系)

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 肇 発行所／名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

23 10

石木屋園芸

大人ハロウィン



## 季節の花便り

### 二十四節気の花飾り



ブーケ ¥5,500 (税込)  
使用花材：秋色アジサイ、アカシア、ユーカリ、グレビレア など

霜降 「北国や山里では霜が降り始める頃。」

日が短くなり肌寒さを感じ始める頃。この時期は「ダリア」がおすす  
めです。開花期は初夏から秋ですが、切花としてのパフォーマンス  
が向上するのはこの時期から。現在は品種改良が重ねられ、数えきれ  
ないほどの品種が作出されています。花の大きさ、咲き方、花色は非  
常に豊富です。

10月は秋の草花や枝物、実物でシックに店内が彩られます。1輪でインパ  
クトのある秋色アジサイやダリアは枝物や実物と合わせて飾り気のないシ  
ンプルシックなコーディネートがおすすです。アレンジやブーケに仕立  
てて季節の贈り物としてもおすすです。

今月は秋を華やかに彩るラインナップです。四季の移ろいをお部屋で楽  
しんでみてはいかがでしょうか。

## 寒露 霜降

金木犀の甘く爽やかな香りが漂いはじめる季節。一年を二十四の季  
節に分け、四季の移り変わりを折り込んだ二十四節気。10月は「寒  
露」と「霜降」の季節です。季節の移ろいと暮らしの中に花の  
ある風景を取り入れてみてはいかがでしょうか。

寒露 「夜が長くなり、露が冷たく感じる頃。」

秋らしい空気につつまれる頃。この時期は「秋色アジサイ」がおす  
めです。秋色アジサイとはもとの品種名ではなく、通常のアジ  
サイの開花期である初夏に咲いた花が、気温の変化などによって、時  
間をかけてアンティークカラーの色合いに変化した状態のことを「秋  
色アジサイ」といいます。発色はパープルベース、グリーンベース、  
ピンクベースのシックなカラーバリエーション。



ブーケ ¥4,400 (税込)  
使用花材：ダリア、トウガラシ、キイチゴ、  
ミレット、ニューサイラン など

## information

### ツワブキ展開催します

ツワブキは日本や台湾の主に海岸  
線に自生するキク科の常緑多年草で  
す。毎年冬になると、黄色の花を咲  
かせます。ツワブキは日本最古の園  
芸書にも登場する程古い歴史を持  
ち、花だけでなく葉の芸 (形や模  
様) も様々な変異を見せ、江戸の園  
芸通を夢中にさせていました。  
そんなツワブキの展示、販売を行  
います。ぜひ品種によって異なる個  
性的な芸をお楽しみください。

開催期間：9/30 (土) ~ 10/15 (日)



品種名右から すいより、小さく、かくしよ



## 花の博物館 第333回

### 梁楷筆意菊之巻

狩野探幽 寛文十一年 (一六七二) 筆

小笠原左衛門尉亮軒

本書は巻子本であり、巻首は緞子装丁、桐箱入、箱表に「梁楷筆意菊之巻 宮内卿法印狩野探幽寄信筆 同内側に金襴裏打、極札「狩野宮内卿法印探幽寄信筆」張込みありあり、巻末に「寛文十一年 (一六七二) 辛亥正月 梁楷図探幽法印七十歳書之印 百菊略写」とある。

さて内容は菊の品種図譜であり、全八十七図、品種名は各図に金箔張り紙に墨書された小紙片貼り込み、全体立派な装丁巻子本である。品種内容は、酔楊妃、黄金目実、くちは、がもう、大ぬれさきなど、江戸初期に存在し、同類書「きくの百花」土佐光起筆 (二〇〇〇年十月) や、「画菊」元禄三年刊、我が国最初の菊品種図鑑としての刊本 (二〇〇一年十月) に当花かがみにて紹介した内容と重なる品種が多く時代的には矛盾がない。

梁楷筆意とは、中国南宋時代 (一一〇〇~一二〇五) の有名画家、その筆意を習得し描かれたものであろう。また民放テレビの「開運なんでも鑑定団」をよく見るが、江戸期の狩野派画家「探幽」や「谷文晁」は鑑定士から「いけませんね」といわれる出品物が多いが、本巻の本物贋作の見分けは私にはできませんが、花、葉の描き方は丁寧で描かれ、またこうしたものとはとえ写しであっても時代の品種を知る資料としては遜色ないと私は思っている。



## グリーンだけじゃない！個性を楽しむ観葉植物

まだまだ暑い日が続きますが、少しずつ季節も秋へと移り変わっていくこの時期、気温が落ち着いてくると、夏のイメージの強い観葉植物も元々よく新しい葉を良く出してくれます。そして暑さがひと段落するこの時期にも魅力的な観葉植物がたくさん入荷してきます。お好みの観葉植物でお部屋を彩ってみるのはいかがですか？

観葉植物には、モンステラのように葉の形を楽しむものや、フィカスやガジュマルなど樹形を楽しむもの、他にも葉に白や黄色の斑が入り明るい印象を与えてくれるものなど、いろいろな植物・品種があります。その中でも特にこの時期オススメしたいのが、葉脈が美しく魅力的な種類の観葉植物たちです。葉の葉脈が赤や黄、白色など、多くの種類が存在しますが、それがグリーンの中でポイントになり、とても個性的な雰囲気を作り出します。どうしても緑色が多くなる観葉植物の中で目を引くこと間違いなし、インテリアとしても存在感を発揮してくれます。

実に多彩な表情を見せてくれる観葉植物。樹形を楽しむもの、葉の色や模様を楽しむものなど実に様々です。葉の柄や模様に注目し、自分らしい魅力的な観葉植物を見つけ、素敵なグリーンライフを楽しみましょう。



フィカス ペティオラリス 陶器鉢植え ¥5,500 (税込)

フィカスの中でも人気のあるウンベラータに葉の形が似ていることから赤ウンベラータとも呼ばれる。実生株であれば茎元が肥大し、とっくり状の株姿が楽しめる。



シンゴニウム バティック 陶器鉢植え ¥4,400 (税込)

くっきりとした葉脈、その葉脈に沿って入る斑が美しい品種。半つる性の植物。株元で葉が茂りますが、大きくなるにつれて盛んにつるを伸ばすようになります。